

宇都宮市議会
公明党議員会

確かな未来・うつのみや

令和6年4月号

■発行日:2024年4月19日
 ■発行:宇都宮市議会
 公明党議員会
 ■住所:〒320-8540
 宇都宮市旭1-1-5
 ■TEL:028-632-2620
 ■FAX:028-632-5938

かなざわ つとむ
金沢 力 会長挨拶

現在、我が国においては、長引く物価高騰、少子・超高齢化による人口減少、さらに地球温暖化による大規模災害の発生など、多くの課題が山積しており、本市においても大きな影響を受けております。

このような中、公明党議員会として昨年10月、「令和6年度予算編成に対する要望書」を佐藤市長に提出し、重点60項目を含む合計180項目を要望したところであります。

さて、本市では、昨年8月26日にLRT(ライトライイン)が開業し、開業半年の本年2月3日には想定よりも1カ月早く、累計乗客数200万人を突破するなど、好調な乗車数が続いている、今後とも公共交通ネットワークの充実を図って参ります。

さらに、我が会派として、女性・生活者の視点を重視し、高齢者・障がい者支援の充実など「福祉の党」として、市民の皆様に寄り添いながら全力で働いて参ります。

令和6年度予算編成に対する要望書を提出

重点要望60、要望項目120(主な要望を抜粋)

- 宇都宮駅西側のLRT事業計画の策定と東武鉄道との効果的な結節
- JR宇都宮駅西口周辺地区整備の推進
- ケアリーバーの支援を含む寄り添い型児童相談所の設置推進
- 0~2歳児の保育料無償化への実現
- ドクターカーの安定的な運用体制強化
- 共生型相談窓口「エールU」の周知・啓発
- 「高齢者外出支援事業」福祉ポイントの増額とタクシーへの使用拡充
- 公共下水道雨水幹線の整備など内水氾濫対策の強化
- 宇都宮市南消防署の整備実現と宇都宮市中央消防署の移設推進
- ブレックス新アリーナ整備への積極的支援
- 年間を通して利用できる室内プールの整備促進
- 八幡山公園の魅力向上に向けた取組
- 新たな工業団地の早期事業化
- 公共施設・一般家庭における再生可能エネルギーの導入推進
- 多様なニーズに対応した東部総合公園の整備推進
- マイナンバーカードの利活用による窓口の一本化と申請業務の迅速化



令和5年10月19日 佐藤市長に要望書を提出

老人福祉センターの電位治療器を
全施設で更新！

令和3年9月 一般質問で村田議員(当時)が電位治療器の更新を強く要望
 令和5年9月 一般質問で岩井議員が再度早急な実現を求めた

同治療器は、血流を良くし、肩こりや頭痛、不眠症などの症状を和らげる装置で設置後20年~30年以上が経過していたため、この度、市内老人福祉センター全5か所で41台を更新し、多くの利用者に喜ばれています！

※60歳以上の方はすべての施設サービスを無償で受けられます。

公明党議員会が
リード

● 第2子保育料の無償化

(令和6年4月より実施)

● 児童手当制度の拡充

(令和6年12月より実施)

・所得制限の撤廃

・第3子以降の支給額の拡充
(月額15,000円→30,000円)

・支給対象の拡大

(中学生まで→高校生相当まで)

● 1か月児健康診査の実施

(令和6年4月より実施)

おたふくかぜ
予防接種費用助成
4月から開始!!

難聴になることもある"おたふくかぜ"は、1回の予防接種で発症者数を88%、2回の接種で99%減らす事ができるといわれています。

成島議員が令和元年12月の議会質問で取り上げ、公明党議員会としても実現にむけて推進しました！

対象者:宇都宮市に住民登録のある

- (1) 満1歳の方
 - (2) 小学校入学の前年度の方
(年長児相当)
- 助成金額 3,000円



(注意)接種費用は医療機関によって異なります。

※予防接種法に基づかない任意の予防接種となりますので、予防接種による効果や副反応等を十分にご理解いただいたうえで、接種の判断をしてください。

お問い合わせ 宇都宮市保健所 保健予防課 028-626-1114

宇都宮市議会公明党議員会 令和5年度定例議会（抜粋）



金沢 力議員



（発言要旨）令和5年12月 定例会一般質問
①国の物価高騰対策を踏まえた本市の支援策について
②ライナーライン沿線のまちづくりについて
（1）清原地区における取組について
（2）東部総合公園について
③書かれない窓口・行かない窓口の実現について
④児童相談所の設置について
⑤がん予防の取組について
⑥今泉小学校における教育環境の確保について
⑦屋内プール整備の検討状況について
⑧消防体制の強化について
（1）消防局・中央消防署の移設整備について
（2）ドローンの活用状況について



金沢 力議員 録画配信QRコード



小倉 久美議員



（発言要旨）令和5年12月 定例会一般質問
①誰もが投票しやすい環境について
②共生型相談窓口エールUの周知啓発について
③HPVワクチンの普及啓発について
④赤ちゃんの駅について
⑤環境への負荷を低減する3Rの取組について
⑥水上公園の駐車場及びあずまやの拡充について
⑦教育行政について
（1）学校施設照明のLED化について
（2）スポーツ施設設備の充実について
（3）不登校対策について
（4）ハイリー・センシティブ・チャイルドへの理解と周知について
（5）公立夜間中学校の設置について



質問

» 今泉小学校の教育環境の確保を図るべきでは

ライナーラインが開業し、今泉地区は重要な交通結節点に位置することになり、駅東口の開発と相まって、ますますにぎわいと人口増加が期待される。地区内では、マンション建設がさらに増加し、児童数が再び増加に転じることが想定されている。

今泉小学校では、過去の児童数増加の際に増設校舎を2棟建設し、校庭が狭隘化しており、現在、教室の不足が懸念されているが、市では将来の児童数増加をどのように捉えているのか。また、教室不足や校庭の狭隘化の解消など、早急に教育環境の確保を図るべきと考えるが、どうか。

答弁

» 児童が安心して学校生活を送れるよう
教育環境の確保に努める

教育次長: 今泉小学校の児童数は、今後増加に転じる見込みであり、早急に対応を検討する必要があると認識しており、まずは6年度に予定している体育館の整備に向けた実施設計において、教室数の不足にも対応できるよう、「体育館へ特別教室などを複合化した事例」を参考に、整備内容を検討していく。

また、校庭の狭隘化の解消についても、児童推計の変動を見極めながら、増設校舎の取り扱いについて検討を進めるなど、引き続き、児童が安心して学校生活を送ることができるよう、適切な教育環境の確保に努めていく。



菅野 大造議員



（発言要旨）令和6年3月 定例会代表質問
①ライナーラインについて
（1）開業1周年記念事業の実施について
（2）オープンスクエアを活用した市民理解の促進について
②低所得世帯支援の給付金について
③マイナンバーカードの普及について
④誰もが参加しやすい自治会づくりについて
⑤多子世帯における子育て支援について
⑥事業系食品ロス削減の取組について
⑦八幡山公園の魅力向上に向けた取組について
⑧うつみやの水道水の効果的な広報について
⑨教育行政について
（1）安心できる学校健診について
（2）学校給食における保護者負担の軽減について
（3）1人1台端末を使用した悩みの相談システム構築について



菅野 大造議員 録画配信QRコード

質問

» 誰もが参加しやすい自治会づくりに向けた
具体的な支援は

自治会は、安全安心なまちづくり活動の中心的な役割を果たすが、人口減少などにより市の自治会加入率は低下傾向にあり、地域住民のつながりの希薄化や役員の担い手不足などを招いている。

このような中、6年2月に未来の自治会の在り方を考える「宇都宮市自治会シンポジウム」が開催され、改めて自治会の重要性を再認識する有意義な機会となった。

若い世代の自治会参加や高齢者の活躍、運営の効率化など、誰もが参加しやすい自治会づくりに向け、一層の支援が重要であると考えるが、6年度の具体的な支援について市の考えを伺う。

答弁

» 新たな補助金創設や加入促進につながる
条例制定を検討

市長: 6年度は、大規模分譲住宅などの加入促進を図るために、自治会へのアドバイザー派遣やマニュアルの作成に取り組む。

また、「魅力ある自治会づくり支援事業補助金」の補助対象地区数を拡充し、事務負担軽減を図るアウトソーシング事業を補助対象へ追加するほか、活動のデジタル化を推進する「地域活動団体デジタル活用支援事業補助金」を創設するなど、若い世代も参加しやすい自治会づくりを支援する。

さらに「宮PASS」を活用したキャンペーンやサービス提供施設の拡充に取り組むほか、自治会の加入促進などにつながる条例の制定を検討する。



秋成 大議員



（発言要旨）令和6年3月 定例会一般質問
①災害に強いまちづくりについて
（1）河川の治水対策について
（2）集中豪雨に備えた監視体制のさらなる強化について
（3）防災土の活用について
（4）女性の視点を取り入れた災害への備えについて
②オンライン行政サービスの充実について
（1）行政サービスのフッシュ型の通知について
（2）メタバースの活用について
③高齢者の健康増進について
④RSウイルス感染症予防対策について
⑤どこも誰でも通園制度（仮称）について
⑥大谷を含む北西部地域のさらなる活性化について



秋成 大議員 録画配信QRコード

質問

» 高齢者のRSウイルス感染症予防に向け、
周知の徹底を

RSウイルス感染症は、乳幼児などにみられる呼吸器感染症であるが、免疫力が低下する高齢者が感染すると肺炎など重篤化する恐れがある。

肺炎は、日本人の65歳以上の高齢者の死亡原因の第5位となっており、これまで国や地方自治体において、積極的に高齢者の肺炎予防に取り組んできた。

近年、60歳以上を対象にRSウイルス感染症のワクチンが承認されたことを受け、市も、ホームページなどで、乳幼児への感染周知に加え、高齢者へのRSウイルス感染症の疾患周知や注意喚起を徹底すべきと考えるが、市の考えはどうか。

答弁

» 新たにホームページなどで
感染予防対策について周知する

保健福祉部長: RSウイルス感染症については、乳幼児を持つ保護者などが感染予防に取り組めるよう、症状や治療法などを市ホームページに掲載しているところだが、高齢者においても急性かつ重症な肺炎などを引き起こす原因となることから、高齢者に向けた周知啓発が重要と認識している。

このため、市では、高齢者施設などへの注意喚起のほか、感染予防のポイントについて指導・助言を行うなど、感染拡大防止に取り組んでおり、高齢者に向けたRSウイルス感染症の予防対策についても、新たにホームページや広報紙に掲載し、周知徹底を図る。



会長 金沢 力

元今泉在住

当選6期

・総務常任委員会



幹事長 菅野 大造

陽東在住

当選2期

・厚生常任委員会
・議会運営委員会



政調会長 成島 隆裕

下荒針町在住

当選2期

・子ども教育常任委員会
委員長



企画担当 岩井 潤子

西川田本町在住

当選1期

・環境経済常任委員会
・広報広聴委員会



広報DX 担当 秋成 大

駒生町在住

当選1期

・建設常任委員会
副委員長
・議会運営委員会



会計担当 小倉 久美

星ヶ丘在住

当選1期

・子ども教育常任委員会
・広報広聴委員会